

## デビュー戦は根性とパワーで初KO勝利

キックボクシングジム REVOLT 所属の森巧光選手が12月3日に行われた「RISE WEST.21」のデビュー戦で1ラウンドKO勝ちを納めました。試合序盤から鋭いパンチの猛ラッシュをかけ、3度のダウンをとり勝利。森選手は「もっと強くなってRISEの世界チャンピオンになります」と今後の目標を力強く語りました。



↑バックボーンで極真空手を生かし、強烈なキックとパンチを見せた森巧光選手。

↓池長さんは金田剣友会、中山さんは方城修錬館の道場で指導も行っている2人。



## 平常心と熱き闘志で挑んだ剣道交流大会

金田剣友会の池長和美さんと方城修錬館館長の中山正和さんが10月29日開催の福岡県ねりんスポーツ・文化祭剣道交流大会に出場。池長さんは71歳～79歳の部で3位、中山さんは65歳～70歳の部で2位という好成績を納めた2人は「来年は、さらに練習を重ねて必ず優勝する」と力強く意気込みを語りました。

## 調理への興味と自信を深めた男飯づくり

初心者向けの「男の料理教室」が、12月5日に金田保健センターで開かれました。参加者13人は、野菜の切り方を学んだ後、「甘辛味の肉じゃが」など3品を調理。今回が初調理という平戸正三さん(赤池)は、「料理の面白さを知ったと同時に自信がついた。自宅でも挑戦したい」と見事なフライパンさばきを披露していました。



↑町食進会メンバーと町職員の計11人が、参加者の料理を優しく指導・補助。

↓児童養護施設で暮らす子どもたちへ訪問アドボカシー活動を行っている安孫子さん。



## 子どもの想いと声を聴く大切さを学習

子どもアドボカシーセンター福岡の理事長 安孫子健輔さんによる「人権講演会」が11月15日に地域交流センターで行われました。演題は「アドボカシーと子どもの権利」、子どもの意見や表明をサポートする方法を紹介。参加者281人にむけ「この社会で生きる全ての人々が子どもの意見を聴くことが大事」と呼びかけました。

↓緊張の中、見守る先生や観客の前で堂々と自分の主張を発表し、惜しみない拍手が送られた代表8人。



## 緊張の中で堂々と思いを表現

青少年育成町民会議主催の「少年の主張大会」が12月3日に地域交流センターで開かれました。町内7校の代表8人が現代社会についてや自身の体験談、身近なことなどに対して感じた自分の心を言葉で表現。「一人一人が」をテーマにしっかりと主張し、久富萌奈実さん(方城中)が最優秀賞に輝きました。久富さんは2月18日に行われる田川地区大会に出場します。

## 学校伝統の「上野焼陶板作り」に挑戦

上野小6年生が11月24日に、卒業制作の「上野焼陶板作り」を行いました。上野焼協同組合の作家から直接指導を受けながら、事前に調べたそれぞれの誕生花を掘り進めていった子どもたち。残り少ない小学校生活の思い出を残すかのように、時折友達や先生と談笑しながら、丁寧に作業を進めていました。



↑今回児童たちが作った陶板は、卒業式前に完成し、校内に飾られる予定。

↓レモン栽培を支えてきた県内の若者ボランティアが、今回もスタッフとして大活躍。



## 無農薬レモンと福智町の魅力を大満喫

耕作放棄地を整備し、無農薬レモン栽培に5年間挑戦してきた「あがのレモン」が、12月9日に「あがのレモン収穫祭」を初開催しました。当日は、レモンの収穫体験をはじめ、レモンシロップ・石鹸作り、地元飲食店の出店などを実施。参加者115人は、レモンと福智町の魅力が詰まった1日を存分に満喫していました。